



平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月3日

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東 名
 コード番号 1712 URL http://www.daiseki-eco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実 TEL 052-611-6350
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月11日 配当支払開始予定日 平成28年10月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の連結業績（平成28年3月1日～平成28年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	7,426	△31.2	870	△37.6	873	△37.6	564	△36.1
28年2月期第2四半期	10,799	80.9	1,395	102.9	1,400	103.6	884	117.2

(注) 包括利益 29年2月期第2四半期 610百万円 (△37.4%) 28年2月期第2四半期 975百万円 (110.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	40.42	—
28年2月期第2四半期	63.29	—

当社は、平成27年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しております。これに伴い、前連結会計年度（平成27年2月期）の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第2四半期	14,438	10,364	69.9	722.48
28年2月期	14,542	9,797	65.7	683.85

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 10,094百万円 28年2月期 9,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	6.00	—	3.00	9.00
29年2月期	—	3.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成27年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しています。なお、平成28年2月期第2四半期末の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

3. 平成29年2月期の連結業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,116	△20.8	1,594	△36.6	1,600	△36.5	961	△36.6	68.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期2Q	13,972,600株	28年2月期	13,972,600株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	120株	28年2月期	29株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期2Q	13,972,538株	28年2月期2Q	13,972,600株

当社は、平成27年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済み株式数（普通株式）を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に弱さが見られるものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめとした新興国や資源国等の経済の鈍化や、英国のEU離脱問題等による金融市場の変動等により、先行きには不透明感が強まっております。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、ここ数年は土地取引件数においては一進一退が続いております。また、建設市場及び住宅市場は、公共投資は緩やかな減少傾向にありますが、民間設備投資、住宅投資には持ち直しの動きが見られ、資機材価格の高騰や労働者不足による労務費の上昇等の不安定要因はあるものの、全体としては堅調に推移いたしました。

このような背景のもと、土壌汚染調査・処理事業を中心にリサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進める一方、外注費を含め広範囲にわたる原価低減を図ってまいりました。しかしながら昨年業績に大きく寄与した土木関連の大型案件が終息に向かい、当第2四半期連結累計期間の寄与度は大きく減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,426百万円(前年同期比31.2%減)、営業利益870百万円(同37.5%減)、経常利益873百万円(同37.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益564百万円(同36.1%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(土壌汚染調査・処理事業)

関連市場が概ね堅調に推移するなか、営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化等新たな需要の開拓に注力してまいりました。昨年は土木関連の大型案件が大きく寄与しましたが、今期はその寄与度が大きく減少した結果、売上高6,562百万円(前年同期比33.4%減)、営業利益1,063百万円(同32.3%減)となりました。

(廃石膏ボードリサイクル事業)

廃石膏ボードの荷動きが概ね堅調に推移したことに加え、前期より連結決算に加えた株式会社グリーンアローズ九州が順調に業績を伸ばしてきた結果、売上高632百万円(同19.6%増)、営業利益75百万円(同216.0%増)となりました。

(その他)

PCB関連事業の荷動きは堅調に推移しましたが、バイオディーゼル燃料の出荷及びリサイクル事業が伸び悩んだ結果、売上高333百万円(同32.5%減)、営業利益15百万円(同75.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は14,438百万円と前連結会計年度に比べ103百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,173百万円、受取手形及び売掛金が723百万円減少し、たな卸資産が445百万円、土地が535百万円、有形固定資産のその他が851百万円それぞれ増加したことによります。負債は4,074百万円と前連結会計年度に比べ670百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が124百万円、未払法人税等が600百万円、長期借入金が149百万円それぞれ減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年4月6日付「平成28年2月期 決算短信」にて公表のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,708,537	1,534,847
受取手形及び売掛金	3,534,222	2,810,272
たな卸資産	290,882	736,093
その他	233,611	195,239
貸倒引当金	△30,724	△24,227
流動資産合計	6,736,529	5,252,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,716,413	1,649,689
土地	4,483,725	5,019,266
その他(純額)	1,065,729	1,917,694
有形固定資産合計	7,265,868	8,586,650
無形固定資産	8,115	13,123
投資その他の資産		
その他	571,875	626,727
貸倒引当金	△39,960	△39,960
投資その他の資産合計	531,915	586,767
固定資産合計	7,805,899	9,186,540
資産合計	14,542,429	14,438,767
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,216,839	1,092,226
短期借入金	840,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	299,796	299,796
未払法人税等	862,107	261,575
引当金	59,497	49,627
その他	522,409	741,706
流動負債合計	3,800,649	3,284,931
固定負債		
長期借入金	725,323	575,425
引当金	72,077	75,612
退職給付に係る負債	59,993	63,738
その他	86,601	74,497
固定負債合計	943,994	789,272
負債合計	4,744,643	4,074,204

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,248,438	2,248,438
資本剰余金	2,043,951	2,043,951
利益剰余金	5,202,535	5,725,429
自己株式	△39	△148
株主資本合計	9,494,886	10,017,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,027	77,044
退職給付に係る調整累計額	350	175
その他の包括利益累計額合計	60,377	77,219
非支配株主持分	242,522	269,671
純資産合計	9,797,785	10,364,562
負債純資産合計	14,542,429	14,438,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	10,799,981	7,426,111
売上原価	8,857,238	5,981,704
売上総利益	1,942,743	1,444,406
販売費及び一般管理費	547,728	573,749
営業利益	1,395,015	870,657
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	2,305	3,450
受取保険金	4,092	—
その他	2,751	2,382
営業外収益合計	9,169	5,850
営業外費用		
支払利息	3,614	3,026
その他	207	70
営業外費用合計	3,821	3,097
経常利益	1,400,363	873,409
特別利益		
固定資産売却益	4,499	10,999
特別利益合計	4,499	10,999
特別損失		
固定資産除却損	216	—
固定資産売却損	—	175
特別損失合計	216	175
税金等調整前四半期純利益	1,404,647	884,234
法人税、住民税及び事業税	544,495	233,417
法人税等調整額	△33,254	57,271
法人税等合計	511,240	290,689
四半期純利益	893,407	593,545
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,016	28,733
親会社株主に帰属する四半期純利益	884,390	564,811

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益	893,407	593,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,926	17,017
退職給付に係る調整額	314	△175
その他の包括利益合計	82,241	16,842
四半期包括利益	975,648	610,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	966,632	581,654
非支配株主に係る四半期包括利益	9,016	28,733

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調査・処理事業	廃石膏ボードリサイクル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,863,934	525,433	10,389,368	410,613	10,799,981	—	10,799,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,805	2,805	83,721	86,527	△86,527	—
計	9,863,934	528,239	10,392,173	494,335	10,886,509	△86,527	10,799,981
セグメント利益	1,572,463	23,922	1,596,385	65,483	1,661,868	△266,853	1,395,015

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業、PCB関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△266,853千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調査・処理事業	廃石膏ボードリサイクル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,559,410	627,244	7,186,655	239,455	7,426,111	—	7,426,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,436	5,042	8,479	94,211	102,690	△102,690	—
計	6,562,847	632,287	7,195,134	333,666	7,528,801	△102,690	7,426,111
セグメント利益	1,063,663	75,608	1,139,272	15,791	1,155,063	△284,406	870,657

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業、PCB関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△284,406千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。